

設問別調査結果 [国語A：主として知識]  
北海道教育委員会一生徒

集計結果

	生徒数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)
北海道教育委員会	30,026	74.2	- -
北海道(公立)	15,738	74.7	74.1 - 75.3
全国(公立)	420,942	75.1	75.0 - 75.2

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			各校または 教育委員会	北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	72.7	73.8	74.2
	書くこと	5	72.5	70.6	71.1
	読むこと	8	74.5	75.8	76.6
	言語事項	18	74.9	75.6	75.8
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	4	72.7	73.8	74.2
	書く能力	5	72.5	70.6	71.1
	読む能力	8	74.5	75.8	76.6
	言語についての知識・理解・技能	18	74.9	75.6	75.8
問題形式	選択式	21	69.6	70.7	71.2
	短答式	14	81.1	80.8	81.0
	記述式	0			

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			各校または 教育委員会		北海道(公立)		全国(公立)	
			話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・ 意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・ 理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1	百人一首の上の句に続く下の句を選択する	現代語訳を参考にして古文の内容をとらえる			○					○				82.7	0.2	83.6	0.2	83.6	0.2
2	書き手が用いた根拠の不十分さを指摘したものを適切なものを選択する	述べている内容とその根拠との関係について考える			○					○				81.9	0.2	83.2	0.2	82.6	0.3
3一	演説の話し方の特徴として適切なものを選択する	表現の仕方に注意して説得力のある話をする	○							○				58.6	0.3	60.2	0.3	58.9	0.5
3二	演説の際、聞き手が重視して聞いているものとして適切なものを選択する	話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取る	○							○				71.0	0.4	71.7	0.4	73.9	0.6
4一	修飾語に合わせて述語の部分を適切に書き直す	書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にする		○						○				89.5	2.9	89.8	3.4	90.1	3.6
4二	一文を二文に分けて書く			○						○				41.0	7.6	38.6	6.7	41.4	5.7
5一	「ぼく」が悲しくなってきた理由として適切なものを選択する	文章の展開に即して内容をとりえ、登場人物の心情について考える			○					○				80.6	0.2	81.7	0.3	84.2	0.3
5二	文章の表現の特徴として適切なものを選択する	文章の特徴をとらえる			○					○				74.2	0.4	75.2	0.4	75.7	0.4
6一	体言止めを用いている行の番号を時の中から選択する	表現の仕方に注意し、その効果を考える			○					○				67.1	1.0	68.9	1.0	69.6	1.0
6二	解説文にある言葉と同じ内容を表す言葉を時の中から抜き出す	文脈の中における語句の意味を理解する			○					○				85.3	2.6	86.4	2.4	86.3	2.6
7一	提案に対する適切な質問を選択する	目的に沿った話し合いになるように、適切に質問する	○							○				80.2	0.4	81.5	0.4	81.7	0.5
7二	話し合いの中での発言のもつ役割として適切なものを選択する	話し合いを効果的に展開させる発言の役割について理解する	○							○				80.9	0.5	81.7	0.6	82.4	0.6
8一	「鳥とは違う」カモノハシの特徴を選択する	論理の展開の仕方をとらえて、内容を理解する			○					○				52.7	0.4	54.2	0.4	56.6	0.5
8二	「ひどい文章」の説明として適切なものを選択する	文章の展開に即して内容を理解する			○					○				71.8	1.0	73.7	1.0	74.5	1.0
9一ア	案内文に必要な項目の名称を書く	伝えるべき内容について整理して書く		○						○				82.3	4.2	71.9	4.0	69.8	4.0
9一イ				○							○				92.9	3.7	93.8	3.6	93.5
9二	小学生に向けた案内文となるように適切な文を書く	相手に応じて表現を工夫して書く	○							○				56.6	11.6	58.8	10.4	60.9	9.3

集計結果

	生徒数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)
北海道教育委員会	30,026	74.2	— —
北海道(公立)	15,738	74.7	74.1 — 75.3
全国(公立)	420,942	75.1	75.0 — 75.2

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			各校または 教育委員会	北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	72.7	73.8	74.2
	書くこと	5	72.5	70.6	71.1
	読むこと	8	74.5	75.8	76.6
	言語事項	18	74.9	75.6	75.8
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	4	72.7	73.8	74.2
	書く能力	5	72.5	70.6	71.1
	読む能力	8	74.5	75.8	76.6
	言語についての知識・理解・技能	18	74.9	75.6	75.8
問題形式	選択式	21	69.6	70.7	71.2
	短答式	14	81.1	80.8	81.0
	記述式	0			

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			各校または 教育委員会		北海道 (公立)		全国(公立)	
			話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への 関心・意欲・ 態度	話す・聞く 能力	書く能力	読む能力	言語について の知識・理解・ 技能	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)
10-1	漢字を書く(先生にソウダシする)				○					○	○		72.2	10.0	73.5	9.3	76.0	7.2	
10-2	漢字を書く(ヨウシキを使って面積を求める)	文脈に即して漢字を正しく書く			○					○	○		72.1	11.9	74.6	10.4	73.6	10.5	
10-3	漢字を書く(鏡にスガタをうつす)				○					○	○		84.9	10.3	83.9	10.2	82.1	11.7	
10-21	漢字を読む(物語の冒頭を読む)				○					○	○		92.2	3.3	92.5	3.0	92.7	3.4	
10-22	漢字を読む(衝撃を受ける)	文脈に即して漢字を正しく読む			○					○	○		94.7	1.7	95.1	1.5	94.8	2.1	
10-23	漢字を読む(調べたことから結論を導く)				○					○	○		96.4	2.0	96.6	1.9	96.3	2.3	
10-3ア	同音異義語から適切なものを選択する(物質が変化していく過程を調べる)				○					○	○		84.0	0.9	85.2	0.9	84.2	1.2	
10-3イ	同訓異字から適切なものを選択する(会議で決を揺る)				○					○	○		40.4	1.0	40.6	1.0	43.2	1.3	
10-3ウ	適切な語句を選択する(わたしが健康になったのは、ひとえに母のおかげです)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う			○					○	○		63.4	1.3	64.5	1.2	63.5	1.5	
10-3エ	適切な敬語を選択する(参観日には父が学校へ来ると申しておりました)				○					○	○		51.8	1.5	52.0	1.5	52.8	1.7	
10-3オ	適切な語句を選択する(兄は困っている人を見るとほうっておけない性分だ)				○					○	○		50.3	2.2	51.2	2.1	48.8	2.3	
10-41	同じような意味の文になるように適切な一字を書く	単語の類別や働きについて理解し、同じような意味を表すように書き換える			○					○	○		93.2	3.3	93.5	3.2	93.4	3.3	
10-42					○					○	○		81.5	2.5	82.4	2.5	83.4	2.6	
10-5A	部首の説明として適切なものを選択する(りっしんべん)	漢字の成り立ちについて理解する			○					○	○		89.7	1.4	89.9	1.4	89.4	1.5	
10-5B	部首の説明として適切なものを選択する(うかんむり)				○					○	○		92.3	1.5	92.9	1.4	92.3	1.5	
10-6	国語辞典で調べたことをもとに、ことわざに込められた意として適切なものを選択する	辞書を活用して、ことわざの文脈における意味を理解する			○					○	○		73.2	1.8	73.9	1.7	75.6	1.7	
10-7	行書の特徴の説明として適切なものを選択する	漢字の楷書と行書との違いを理解する			○					○	○		42.7	2.2	44.3	2.0	46.7	2.0	
10-8	読みやすい連絡板にするための先生の助言として適切なものを選択する	目的に応じて、文字の大きさや配列・配置に気を付けて書く			○					○	○		72.5	2.3	74.3	2.1	75.3	2.0	

設問別調査結果 [国語B：主として活用]  
北海道教育委員会 一 生徒

集計結果

	生徒数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
北海道教育委員会	30,040	61.2	-	-
北海道(公立)	15,742	62.9	62.1	63.7
全国(公立)	421,113	65.3	65.1	65.5

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			資校または 教育委員会	北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	35.4	41.3	45.6
	書くこと	4	54.0	55.8	60.2
	読むこと	9	64.1	65.3	67.5
	言語事項	0			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	47.2	47.6	53.0
	話す・聞く能力	1	35.4	41.3	45.6
	書く能力	4	54.0	55.8	60.2
	読む能力	9	64.1	65.3	67.5
	言語についての知識・理解・技能	0			
問題形式	選択式	4	74.2	75.2	75.5
	短答式	3	57.8	61.9	64.0
	記述式	3	47.2	47.6	53.0

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			資校または 教育委員会		北海道 (公立)		全国(公立)		
			話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・ 意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・ 理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1-1	トップ記事で紹介している施設が開設された年月を書く	書かれている情報を的確に関連付けて読む			○				○			○			68.5	2.9	72.4	2.7	74.7	2.4
1-2	トップ記事とコラムとを比較し、書き方の特徴として適切なものを選択する	記事文における表現の仕方をとらえる			○				○		○				48.5	0.9	49.9	1.1	48.9	1.0
1-3	新聞を読んで、興味をもった記事について感想を書く	記事文に書かれている内容をもとに、自分の考えを書く	○	○		○		○	○			○			54.8	5.4	43.1	4.9	51.6	3.8
2-1	提示する資料に表れている工夫として適切なものを選択する	資料の表現の仕方をとらえる			○				○		○				76.5	0.4	77.6	0.5	78.5	0.5
2-2	提示する資料に、説明したい内容を簡潔に書く	文章から必要な情報を集め、資料に表れている工夫を自分の表現に役立てて書く		○	○				○	○		○			74.7	9.5	80.3	8.7	81.8	7.8
2-3	資料の修正の方法を選択し、修正の具体的なやり方とその理由を書く	資料の提示の仕方を工夫し、その方法について具体的に説明する	○	○		○	○	○				○			35.4	14.2	41.3	12.9	45.6	10.3
3-A	前後の関係から語句の意味をとらえ、適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を的確にとらえる			○				○		○				83.3	0.5	83.6	0.6	85.3	0.7
3-B					○				○		○					88.6	0.6	89.6	0.7	89.2
3-2	本文中の表現がたとえている内容をとらえて書く	表現の仕方に注意して読み、内容について理解する			○				○			○			30.4	21.9	32.9	20.2	35.5	18.7
3-3	二つの表現に共通した面白さについて自分の考えを書く	文章の内容や表現の仕方をとらえ、自分の考えを明確に説明する	○	○		○		○	○			○			51.4	28.6	58.4	25.7	62.0	22.0

設問別調査結果 [数学A：主として知識]  
北海道教育委員会 一生涯

集計結果

	生徒数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)
北海道教育委員会	30,039	60.9	- -
北海道(公立)	15,749	62.7	61.8 - 63.6
全国(公立)	421,250	64.6	64.4 - 64.8

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			各校または貴教育委員会	北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	数と式	12	70.8	72.4	75.2
	図形	12	60.7	62.5	64.3
	数量関係	12	51.1	53.1	54.3
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な表現・処理	17	61.5	63.3	66.0
	数量、図形などについての知識・理解	19	60.3	62.1	63.3
問題形式	選択式	18	58.1	60.1	61.9
	短答式	18	63.6	65.2	67.3
	記述式	0			

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			貴校または貴教育委員会		北海道(公立)		全国(公立)		
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	$1/4 + 2/5$ を計算する	分数の加法の計算をすることができる	○				○			○			80.4	2.8	81.4	2.6	84.7	2.1
1(2)	-10より大きい負の整数を1つ書く	正の数と負の数にまで拡張した数の範囲で、数の大小関係を理解している	○					○		○			72.7	3.3	73.5	3.1	74.5	3.0
1(3)	150を基準にして128を負の数で表す	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	○						○				82.5	4.2	83.4	4.0	85.5	3.2
2(1)	$b \times 5 \times a$ を、文字を用いた式の表し方にしたがって書く	文字を用いた式の表し方にしたがって、式を表すことができる	○				○			○			88.2	6.8	88.9	6.2	90.8	5.0
2(2)	$210a$ で表される事象を選ぶ	与えられた文字式を具体的な事象と関連付け、その意味をよみとることができる	○				○		○				67.9	0.5	70.0	0.5	74.5	0.5
2(3)	$x=3$ のときの式 $12/x$ の値を求める	文字に数を代入して式の値を求めることができる	○				○			○			86.9	6.9	88.1	6.4	90.3	5.2
2(4)	2けたの自然数を表す式を選ぶ	数量の関係や法則を文字式で表現することができる	○				○		○				59.0	0.9	62.3	0.8	65.9	0.8
2(5)	等式 $2x+y=5$ を、 $y$ について解く	等式を目的に応じて変形することができる	○				○						65.4	9.9	66.8	9.2	72.1	7.3
3(1)	$2x=x+3$ の解について正しい記述を選ぶ	一元一次方程式の解の意味を理解している	○					○	○				51.8	1.4	54.1	1.4	55.2	1.3
3(2)	$(x+1)/5=2$ を解く	分数を含む一元一次方程式を解くことができる	○				○						51.6	19.3	54.6	17.6	58.1	15.5
3(3)	連立方程式 $\begin{cases} 2x+y=9 \\ 3x+2y=9 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	○				○			○			73.2	9.9	74.8	9.3	78.3	7.7
3(4)	連立方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	連立方程式をつくらせて問題を解決するために、着目する必要がある数量を見だし、立式できる	○					○		○			69.5	1.5	71.1	1.5	72.1	1.3
4(1)	線対称な図形の対称軸を選ぶ	線対称な図形の対称軸について理解している		○					○	○			66.2	0.6	68.2	0.7	68.5	0.7
4(2)	垂線の作図の手順を選ぶ	垂線の作図の手順を理解している		○						○	○		84.2	0.7	85.3	0.8	85.9	0.7
5(1)	立体の辺が底面に垂直であるかどうかを調べる方法として、正しいものを選ぶ	直線が平面に垂直であるかどうかを調べる方法を理解している		○						○	○		53.9	0.9	54.8	0.9	57.1	0.9
5(2)	三角形をそれと垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体を選ぶ	三角形をその面と垂直な方向に平行に移動させると、三角柱が構成されることを理解している		○						○	○		81.9	0.6	82.9	0.7	83.0	0.8
5(3)	立方体の見取図をよみとり、2つの線分の長さの関係について、正しいものを選ぶ	空間図形における長さの関係を見取図からよみとることができる		○				○		○			48.6	1.0	49.7	1.0	53.6	1.1
5(4)	円柱の体積を求める式と答えを書く	円柱の体積の求め方を理解し、体積を求めることができる		○				○		○			32.1	23.7	35.8	21.2	39.9	17.7
6(1)	三角形の外角を表す式を選ぶ	三角形の外角とそれととなり合わない2つの内角の和の関係を理解している		○					○	○			62.7	0.8	64.8	0.9	69.4	0.9
6(2)	五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを $90^\circ$ に変えたときの内角の和の変化として正しいものを選ぶ	多角形の内角の和の性質を理解している		○						○	○		68.9	1.0	70.6	1.0	72.8	1.0

設問別調査結果 [数学A：主として知識]

北海道教育委員会 一生徒

集計結果

	生徒数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)		
北海道教育委員会	30,039	60.9	-	-	-
北海道(公立)	15,749	62.7	61.8	-	63.6
全国(公立)	421,250	64.6	64.4	-	64.8

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			貴校または 貴教育委員会	北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	数と式	12	70.8	72.4	75.2
	図形	12	60.7	62.5	64.3
	数量関係	12	51.1	53.1	54.3
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な表現・処理	17	61.5	63.3	66.0
	数量、図形などについての知識・理解	19	60.3	62.1	63.3
問題形式	選択式	18	58.1	60.1	61.9
	短答式	18	63.6	65.2	67.3
	記述式	0			

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			貴校または 貴教育委員会		北海道 (公立)		全国(公立)	
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
7(1)	事柄「 $AO=BO$ 、 $CO=DO$ ならば $AC=BD$ である。」の仮定をすべて書く	命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の仮定を指摘できる		○			○			○		75.9	11.8	76.9	10.8	75.2	10.8
7(2)	証明で用いられている合同条件を選ぶ	証明をよみ、用いられている直角三角形の合同条件を理解している		○				○	○			50.8	1.1	54.0	1.0	55.4	1.1
7(3)	平行四辺形になるための条件を、記号を用いて表す	言葉で示された図形の性質や条件を、記号を用いて表すことができる		○			○			○		56.9	18.2	59.4	16.8	61.9	14.8
8	証明された事柄に新たな条件を付け加えた事柄について、正しい記述を選ぶ	証明の意義について理解している		○				○	○			46.6	1.5	47.9	1.5	48.7	1.4
9(1)	比例の表を完成させる	比例の関係を表す表の特徴をとらえて、 $x$ の値に対応する $y$ の値を求めることができる		○			○			○		85.0	6.8	86.1	6.2	87.8	5.3
9(2)	$y=-2x$ 上の点を選ぶ	比例のグラフ上にある点の $x$ 座標と $y$ 座標の値の組が、その式を満たしていることを理解している		○				○	○			36.8	2.0	39.7	1.9	40.4	1.8
9(3)	比例のグラフから、 $x$ の変域に対応する $y$ の変域を求める	比例のグラフから、 $x$ の変域に対応する $y$ の変域を求めることができる		○			○			○		44.8	24.0	47.2	22.2	45.0	20.0
10(1)	$y=3/x$ について、正しい記述を選ぶ	反比例について、比例定数の意味を理解している		○				○	○			44.9	2.7	47.6	2.6	48.8	2.4
10(2)	反比例 $y=12/x$ のグラフを選ぶ	反比例の式とグラフの関係について理解している		○					○	○		57.8	2.6	59.7	2.5	62.7	2.3
11(1)	一次関数の式から変化の割合を求める	$y=ax+b$ について、変化の割合が $a$ の値に等しいことを理解している		○				○		○		49.9	28.7	51.7	26.8	51.6	26.6
11(2)	一次関数のグラフから式を求める	一次関数のグラフから、 $x$ と $y$ の関係を $y=ax+b$ の式で表すことができる		○			○			○		53.4	18.7	54.7	17.4	55.2	16.0
11(3)	16cmの長さのひもで作る長方形の縦の長さと横の長さの関係を式で表す	具体的な事象における一次関数の関係を式で表すことができる		○			○			○		17.7	34.0	20.5	31.4	22.9	28.2
12	水槽に水を入れ始めてからの時間と水の量の関係について、正しい記述を選ぶ	与えられた事象の中にある2つの数量の関係が一次関数であることを判断できる		○				○	○			43.8	2.4	45.9	2.3	48.9	2.1
13	連立二元一次方程式の解を、グラフ上の点から選ぶ	連立二元一次方程式の解が、座標平面上の2直線の交点の座標として求められることを理解している		○				○	○			57.4	3.5	59.1	3.4	58.7	3.2
14(1)	総当たり戦の試合数を求める	樹形図や表などを利用して、場合の数を求めることができる		○			○			○		58.3	12.4	59.5	11.8	66.4	10.4
14(2)	1枚の硬貨を投げるときの確率について正しい記述を選ぶ	確率の意味について理解している		○				○	○			63.5	3.0	65.8	2.8	63.7	2.6

設問別調査結果 [数学B：主として活用]  
北海道教育委員会－生徒

集計結果

	生徒数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)		
北海道教育委員会	30,028	39.1	-	-	-
北海道(公立)	15,742	41.2	40.1	-	42.4
全国(公立)	421,281	43.3	43.1	-	43.5

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの区分について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			貴校または 貴教育委員会	北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	数と式	4	37.7	41.2	43.2
	図形	4	36.0	38.0	40.2
	数量関係	6	42.0	43.5	45.5
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	13	36.9	39.1	41.0
	数学的な表現・処理	1	66.9	69.3	72.7
	数量、図形などについての知識・理解	0			
問題形式	選択式	2	48.1	50.2	51.9
	短答式	5	48.1	50.6	53.7
	記述式	7	30.1	32.0	33.4

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			貴校または 貴教育委員会		北海道 (公立)		全国(公立)	
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1(1)	身体活動量を求める式を用いて、自転車に30分間乗ったときの身体活動量を求める	必要な情報を適切に選択し、処理することができる			○		○			○		66.9	4.4	69.3	4.0	72.7	3.6
1(2)	数量の関係を連立二元一次方程式で表し、これを解く	必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現して処理することができる	○				○			○		32.4	26.3	36.0	23.5	38.6	21.1
1(3)	卓球をした場合と同じ身体活動量で、運動の実施時間を半分にできる別の運動を選び、その理由を説明する	問題解決のための構想を立て実践し、その結果を数学的な表現を用いて説明することができる			○		○			○		26.9	6.4	27.5	6.2	28.7	4.4
2(1)	予想が成り立たない連続する3つの奇数の例をあげ、その和を求める	予想された事柄を振り返って考えることができる	○				○			○		46.5	10.6	49.7	9.7	52.4	8.4
2(2)	連続する3つの奇数の和が3の倍数になることを説明する	筋道立てて考え、事柄が一般的に成り立つ理由を説明することができる	○				○			○		19.6	36.2	23.3	32.8	24.3	29.1
2(3)	連続する4つの奇数の和について成り立つ事柄を説明する	発展的に考え、見いだした事柄を説明することができる	○				○			○		52.5	24.8	55.8	22.7	57.5	19.9
3(1)	グラフから、2店のTシャツのプリント料金が同じになる座標を選ぶ	表やグラフから必要な情報をよみとり、事象を数学的に解釈することができる			○		○		○			48.3	1.9	50.0	2.1	52.6	2.0
3(2)	Tシャツ35枚のプリント料金が最も安い店をグラフから判断する方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			○		○			○		29.7	35.2	28.2	32.3	29.1	28.9
4(1)	証明をよみ、2つの三角形の対応する2辺の間の角が等しいことを表している部分を書く	与えられた証明をよみ、そのしくみを考えることができる		○			○			○		41.5	18.9	42.8	17.3	47.1	15.7
4(2)	2つの線分の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する	発展的に考えて証明することができる		○			○			○		40.7	28.6	44.9	26.6	46.3	23.3
5(1)	パイプの構造を図形としてとらえ、パイプの端点をつないでできる図形の名前を書く	事象を図形に着目して観察し、その特徴を的確にとらえることができる		○			○			○		53.2	20.2	55.0	18.2	57.8	16.7
5(2)	平行四辺形になることを証明するための根拠となる事柄を書く	事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができる		○			○			○		8.7	53.4	9.2	49.4	9.4	45.1
6(1)	L字型の厚紙を引き出すとき、その長さで面積の関係を表すグラフの特徴を説明する	グラフに表れた変化する数量の特徴を数学的に表現することができる			○		○			○		32.4	56.4	35.4	52.5	38.4	48.3
6(2)	封筒から引き出した部分の長さで面積の関係を表したグラフから、厚紙の形として、正しいものを選ぶ	数学的な結果を事象に即して解釈することができる			○		○			○		47.9	4.2	50.4	4.2	51.2	4.3